

「環境白書」の刊行にあたって

本県は、多彩な自然に恵まれており、私たちの暮らしや産業は、この豊かな環境から恵みを受けて育まれてきました。この貴重な財産を次世代に引き継ぐためには、環境への負荷の少ない持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいくことが重要です。

これまでの取組により、本県の環境の状況は概ね良好に推移していますが、地球規模で見ると、温室効果ガスの増加による異常気象や生態系への影響、急増している海洋ごみ問題、野生鳥獣による被害等が顕在化してきており、地域の実情に応じた環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくことが必要であると考えています。

このため、地球温暖化対策の推進・再生可能エネルギーの導入促進、循環型社会の形成、さまざまな生物との共生、いのちを支える空気と水等の保全、次代を担う環境・エネルギー産業の育成・集積など、「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」に掲げる重点施策を柱におき、さまざまな取組を進めています。さらに、本年3月に「山口県循環型社会形成推進基本計画」を改定するなど、環境を巡る情勢の変化にも的確に対応しているところです。

私は、健全で恵み豊かな環境の保全と創造のために、これからも直面する課題にしっかりと向き合い、県民の皆様が「山口県に生まれてよかった」と思っていただけのような積極果敢に取り組んでまいります。

この白書は、山口県環境基本条例に基づく年次報告であり、環境の状況及び環境の保全に関する施策を取りまとめています。本書を通じて、県民の皆様がふるさとの環境について理解を深めていただく一助となりますよう願っています。

平成28年（2016年）10月

山口県知事
村岡嗣政

